

平成28年度 子供ゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 家庭の教育力を高める「ファミリーキャンプ⑤」

- 1 趣 旨 自然体験を通して家族の絆を深め、家族相互の交流を図る。
- 2 期 日 平成28年11月12日（土）～13日（日） 1泊2日
- 3 対 象 者 キャンプや自然体験に興味のある家族
- 4 募集定員 12家族60人
- 5 参 加 者 12家族45人（応募数：13家族49人）
※1家族が体調不良等のため不参加
- 6 指 導 者 国立大隅青少年自然の家職員
ボランティア2人



7 日程と主な活動

11月12日（土）	11月13日（日）
14:30 受付（太陽の家）	6:00 起床
15:00 出合いのつどい 歓迎のあいさつ 家族紹介 自然の家職員・ボランティア紹介 オリエンテーション	7:00 朝のつどい 7:30 朝食（レストラン） 8:30 太陽の家に移動 9:00 焚き火 de ヤキイモ！ 落ち葉を集めて大きな焚き火 焼き上がるまでは自由に野遊び
15:15 秋の野遊び（昔遊びなど）	11:30 別れのつどい 送別のあいさつ
16:00 野外炊飯「七輪でサンマを焼こう！」	11:45 解散
18:00 夕食・あとかたづけ	
19:00 本館へ移動	
19:20 プレイホール大解放 (クライミングやボール遊びなど)	
20:20 入浴	
21:00 自由交歓・就寝準備	
21:30 消灯	

8 事業運営について

- (1) 秋という季節感を出しながら普段できない活動を楽しんでもらえるよう、「七輪でサンマ」「焚き火で焼き芋」を柱としてプログラムを構成した。
- (2) 焼き芋が焼けるまでの間に手持ちぶさたにならないよう、輪回しやスラックライン、どんぐりクラフトなどのメニューを揃え、自由に遊んでもらえるようにした。
- (3) 家族間の交流を促進するため、自由に遊ぶ時間におけるスタッフの動きは、要所の安全管理にとどめ、また各保護者には、「子供を共に見守る」ことを最初の約束事とした。



9 事業の実際

(1) 初日の昼・夜，そして2日目の焚き火中と，家族または子供同士で自由に遊ぶ時間をたっぷり設けた。昔遊びやニュースポーツといった遊具などを数種類そろえたことで，子供だけでなく大人も熱中したり子供同士で遊ぶのを見守りながら，保護者同士で会話が弾む場面も見られた。

(2) 夕食メニューは，炊き込みご飯・豚汁・秋刀魚の塩焼きといった季節感を取り入れたメニューとし，複数家族をあわせた班編成とし，家族同士で協力しながら，調理を行った。また，子供が薪割りなどに挑戦するのを大人が見守る姿が見られた。

(3)。

(4) みんなで落ち葉を集め，大きな焚き火で焼き芋を作った。芋が焼けるまでの約1時間は自由に遊ぶ時間としたが，多くの子は焚き火の周りで木の葉や小枝をくべるなど，普段できない焚き火に夢中になっていた。



10 参加者の感想

- 以前のキャンプで仲良くなったご家族と再会でき，子供同士たっぷり遊べて喜んでいました。
- 七輪や焚き火など，懐かしいけど今はできない体験ができて子供も大人もおおいに楽しめました。
- ぽかぽか陽気の下，芝生に座って食べる焼き芋は美味しかった。最高の秋の1日でした。

11 成果と課題

- 天気に恵まれたこともあって，自由に遊ぶ時間では，子供同士や親子で存分に遊べたこと，新旧織り交ぜた様々遊びで全ての年齢層が楽しむことができた。
- 大人だけでなく，子供にとっても七輪は魅力的だったようで，サンマを焼く煙に悪戦苦闘しながらも，交代で頑張る姿が印象的だった。

